

理事

NO	氏名	所属	抱負
1	近藤 知子	杏林大学	私は、2020年より日本作業科学研究会の会長を務めさせていただきました。新型コロナウイルスの影響を大きく受けた2年間ではありましたが、研究会委員の前向きな姿勢と会員の皆様のご協力により、かつてないほどの研修会や交流会の場を持つことができました。次の2年は、私たちが禍の中で手に入れた新しい方法をさらに発展させ、同時に、伝統的な方法の中にある良さを活かした組織づくり、情報発信に努め、日本における作業科学の発展に寄与していきたいと考えています。
2	渡辺 慎介	専門学校 YIC リハビリテーション大学校	現在、本研究会は各班、委員会が独立して研修を開催しています。OSの裾野を広げるためには、基礎から段階的に学べるシステム作りが必要と考えます。そのシステム作りに貢献できればと考え立候補いたしました。どうぞよろしく願いいたします。
3	西方 浩一	文京学院大学 保健医療技術学部 作業療法学科	作業科学の発展に貢献したく研究会理事に立候補いたします。作業に関する知識の創出、共有が実施できる研究会を目指し、研修会、学術大会をはじめとした研究会活動を促進できるよう努力したいと考えます。
4	ボンジェ ペイター	東京都立大学	私は、本会がますます発展するように微力ですが、理事長はじめ他理事や会員の方々の皆様と共に、頑張りたいと思います。特に機関誌編集の投稿論文をさらに促進したり、機関誌の利便性をさらに向上したりつとめたいと思います。 また、当事者・障がい者になってから、作業科学の知識の役に立つさを宣伝したいと思います。どうぞよろしく願いいたします。
5	中塚 聡	諏訪共立ケアセンター 赤砂	理事として2期4年間、この2年間は副会長、そして研究推進班やオンライン研修特設委員会を担当し、活動してきました。理事の中では数少ない臨床家という立場から「作業の知識を創出する」、「生み出された知識を活用する」という研究会の2本柱を引き続き推進したいと考えています。会員のほとんどが作業療法士である日本の研究会の中では作業療法というフィールドを最大限に生かしつつ、作業療法以外の教育や保健、地域

			活動等の分野でも人々の健康に寄与できるよう、作業科学という学問の認知度が高まるような活動の普及も理事として推進したいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。
6	高木 雅之	県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科作業療法学コース	作業に関する論文を読んだり、作業について話したりできる場や機会を増やしていきたいと考えています。そして、作業の知識が広がることで、誰もが作業を通して健康と幸せになれる社会の実現に貢献したいです。
7	齋藤さわ子	茨城県立医療大学	2期目の立候補となります。1期目はようやく理事としての流れが見えてきたというところでした。他の理事からいろいろと学ばせていただきました。恩返しができるように2期目は1期目の経験を生かして、落ち着いて研究会のあり方や方向性を考え役割を担っていきたいと思っています。次世代の作業科学者の支援をしていきます。よろしく願いいたします。
8	大谷 将之	障がい者支援センター「てらだ」	私は2017年より作業科学を実践につなげる研修会の運営委員として4年程度携わり、昨年より作業科学基礎入門研修会の運営に携わっています。様々な方に作業科学を知ってもらい、親しみ、共に学び合う仲間を増やし、更なる日本作業科学研究会の発展に貢献できたらと思っています。まだまだ未熟ではありますが、何卒宜しくお願いいたします。
9	山根 伸吾	藍野大学	3期目の立候補となります。1期目では、機関誌編集と広報に関わらせて頂き、2期目では副会長と広報担当をさせて頂き、日本作業科学研究会第24回学術大会の大会長をさせて頂きました。理事として、多くの方と関わり、個人的にも社会的にも意義のある作業を経験させて頂けていることに感謝しております。今後も、楽しみながら、作業科学の発展に貢献できればと考えております。どうぞよろしくお願い致します。
10	今井 忠則	北里大学医療衛生学部	日本の作業科学のさらなる発展のためには、専門学術誌「作業科学研究」の活性化と公正で効率的な査読システムが重要と考えます。私は前期(2020-21年度)の理事立候補に際して、「学会・論文発表の活性化と持続可能な運営システム(査読制度等)の構築に寄与する」ことを掲げ、理事に選出され、「作業科学研究」の副編集長(査読システム担当)として、新査読システム

			<p>の構築にほぼ専念してまいりました。現在、2年間の新システム試行期間中ですが2023年度から新査読システムの正規開始を予定しています。また、先行して昨年「査読員制度」を新たに構築・開始致しました。以上の新査読システムの構築と正規開始のため、引き続き今期の理事に立候補致します。</p>
--	--	--	--

監事

1	西野 歩	NPO 煌めく返り花	<p>日本作業科学学会は数年にわたり研究会の魅力づくり、会員獲得に向け活動しており、これを促進するため、監事として貢献したく立候補します。</p> <p>私が監事に選ばれたならば、2期目となります。1期目に学んだこと、そしてNPOでの経験を活かし、会務の監査を責任をもって行います。</p>
2	若井 亜矢子	札幌リハビリテーション専門学校	<p>札幌医科大学大学院で作業科学に出会い、Zemke先生、Clark先生、佐藤剛先生から直接、仲間と共に学んだ経験は、年月を重ねても色鮮やかです。その学びを本研究会に学びを求めている作業療法士や多くの研究者の皆様に改めて広く還元し、共に成長いたします。これからの社会では、これまで以上に多様な価値観、柔軟な思考と行動力が必要となり、作業の力はますます注目されると私は考えます。この点においても、本研究会はより一層の社会貢献ができると思います。その一翼を担いたいと考え、監事に立候補いたします。</p>

届出受理順

所属、抱負とも原文のまま

理事 7名以上 10名以下 監事 2名